

○松方河川レンジャー 平成 27 年度年間活動計画

1. 活動の目的

小泉川は、天王山の近くの山に源を発し、全長 7 km、集水域 10 km の小さな川である。山中から、田畑をへて町中を流れていることで、水はきれいで水生生物も多く、6 月には、ホタルも飛び交う。下流から上流まで、魚道や自然に近い護岸があり、魚が遡ることが自然にできる。身近な川でありながら、この川が田畑へ水を送る大切な役割を果たしていることや、台風などによる洪水の危険を防ぐために、河川工事がくり返しおこなわれてきたこと、また、親水性を生かした河川工事や、自然を生かした川づくりなど、工事のやりかたが変わってきていることが地域の住民に知られていない面もある。

行政は「工期」との絡みで、住民にその河川整備の内容や意義を十分に知らせることなく、行政主導で工事を進めることが多い。これでは、住民は川とのつきあい方を考える機会を失うし、一方的に多自然型工法を与えられても、川を守る意識は育たない。住民も参加した川と暮らしの関係を見直していくことが必要である。

まず、岸辺を歩き、川に入り親しむ中で、自然の豊かさと川の楽しさを知るとともに、親水性に目をむけた河川整備を知り、利水、治水などの川の大切さに目を向けてもらう場とする。さらに、下流でつながる桂川にも目を向け、生き物の多様性や自然環境などを知らせていきたい。

「いい町は、いい川を持つ」という言葉がある。地域の人が、身近な自然である川を通じてお互いにつながりを持ち、うるおいある豊かな生活をつくっていけるように、河川レンジャーの立場をいかし、行政と協力しながら、住民が主体的に参加できる活動を進めていきたい。

2. 活動の目標

- Step1 子どもたちや地域住民に川に親しみ、川を楽しむ機会をつくり、川への関心を高めてもらう。
- Step2 行政や地域団体などと連携して取り組みことで、活動内容や範囲を広げ、住民自らが主体的に活動する機会をつくる。
- Step3 行政、地域団体などと連携して取り組むことで、環境保全や防災・治水などについて、積極的に意見を出し合う場をつくっていく。

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期 (任命期間/年次)				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	① 小泉川の観察と環境調査 (観察会) ・水辺の自然と環境を見ながら桂川まで歩く。 ・水生生物を調べ、川の水質や環境を調べる。 ・魚をとって、種類や生態を調べる。 ② 「流れる水のはたらき」 (理科5年) と河川工事 (護岸や川床) について (小学校出前授業) ③ 「川づくりと河川環境」 (市民向け学習会) 河川整備の内容を、自然環境との関係で考える					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 「長岡京市ジュニアレンジャー」 (仮称) の実施・展開 「講座」 の開設 参加者の募集、関係機関との内容の調整 ② 行政、地域団体などと連携して取り組むことで、活動内容や範囲を広げ、主体的に活動する機会をつくる。防災施設や他自然型工法の見学					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	① 「長岡京市ジュニアレンジャー」 の継続 参加者自らで内容を作り上げ、主体的に活動できるように進めていく ② 行政、地域団体などと連携して取り組む中で、環境保全や防災・治水などについて、積極的に意見を出し合う場をつくっていく					

4. 平成27年度活動内容

平成27年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
河川の環境保全を図る活動	桂川の合流地点まで歩きながら、自然と環境を調べよう (観察会)	5月
	小泉川の水生生物を調べ、川の水質や環境を知ろう (観察会)	6月
	小泉川の魚をとって、種類や生態を調べよう (観察会)	7月
	「流れる水のはたらき」と河川工事 (護岸や川床) について (小学校出前授業)	10月
	「川づくりと河川環境」 (市民向け学習会)	11月

■活動を実施していく上での課題

- ①「小泉川の自然と環境」観察会
 - ・安全に、スムーズに観察を進めていくためのスタッフの確保
 - ・採取した生物の同定など、専門家の確保
- ②「川とわたしたちの暮らし」市民向け学習会
参加者の確保

■課題に対する改善点

- ①「小泉川の自然と環境」観察会
 - 地域の自治会や自然保護団体への協力依頼
 - 水生生物専門家への講師依頼
- ②「川とわたしたちの暮らし」市民向け学習会
 - ・住民に興味関心を持ってもらうように、内容を工夫する。
 - ・環境フェアや市の行事などで広範囲に企画を知らせるとともに、個別に参加要請をして、参加者を確実につかむようにする。

4. 1 小泉川中流から桂川への合流地点まで歩きながら、自然や環境を調べよう。

(1) 活動目的

小泉川を桂川の合流地点まで川に沿って歩き、小泉川の自然や環境や環境を調べる。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 27 年	4月	現地下見 小泉川から桂川へ
	5月	● 小泉川観察ハイキング
	6月	活動のまとめ 報告
	7月	

(2) 連携等

乙訓の自然を守る会

(3) 参加対象者・定員

小学生以上 小学生は保護者同伴 20名

(4) 実施内容

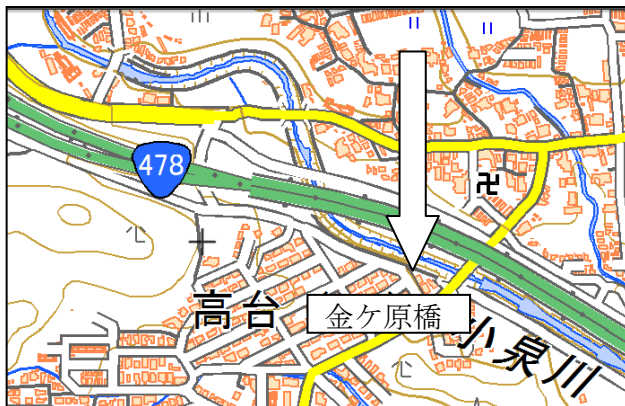
- ・小泉川の中流から桂川の合流地点まで、自然観察をしながら、護岸の様子、構造物を確かめながら歩く。
- 9:00 集合 趣旨説明、諸注意
- 9:20 水質調査 金ヶ原橋
- 9:30 観察開始 下流に向けて歩く。
- 11:30 桂川との合流地点着
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00 まとめ 解散

(5) 実施日

5月10日(日) 9時～13時30分

(6) 実施場所

<集合場所> 小泉川 金ヶ原橋 上流



<解散場所> 小泉川下流 桂川との合流地点 桂川河川敷公園

(7) 安全対策

下見により、危険な場所をさけ、安全な場所を歩く。
安全対策のスタッフを置き、常時、活動の様子を見守る。
長袖、帽子、水分補給などの虫や暑さ対策をする。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 2 名 (受付 運営補助、参加者への安全対策)

(9) 広報・募集方法

チラシの作成・配布 長岡京市広報 淀川河川レンジャーのホームページより発信

(10) 必要支援内容

- ・ 募集チラシ、資料の印刷
- ・ 救急セット、バインダー、レンジャー旗の借用 水質調査用パックテスト準備

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

募集チラシ作製、当日の運営、まとめ

4. 2 小泉川の水生生物を調べ、川の水質や環境を知ろう。

(1) 活動目的

実際に川に入り、生物を採取することで、川の生態を知り、小泉川の水のきれいさ、自然の豊かさを知る。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 27 年	4月	企画掲載の市広報依頼
	5月	現地下見 小泉川 近隣小学校へのチラシ配布依頼
	6月	●小泉川の水生生物と水質調査 6月下旬(日)
	7月	活動のまとめ 報告
	8月	

(2) 連携等

乙訓の自然を守る会

(3) 参加対象者・定員

小学生と保護者(保護者同伴で10組)

(4) 実施内容

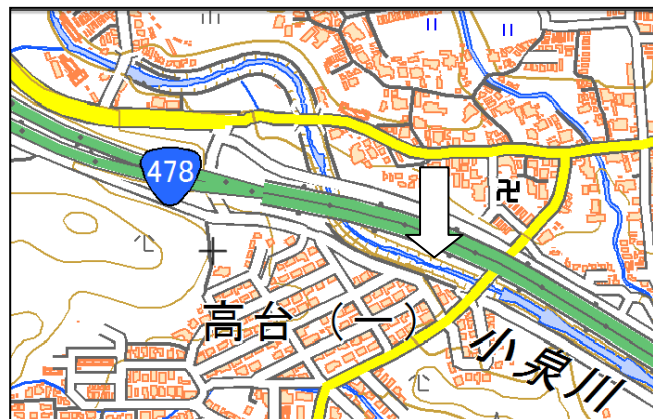
- ・水生生物を採取して、生物の分類、名前の確認をする。
 - ・水質調査をする。
 - ・自然にやさしい川づくりについて、護岸や魚道などについて話をする。
- 9:00 集合 趣旨説明 現地説明、諸注意
 9:20 水生生物の採取
 11:20 まとめ(採取した生物の分類 確認)
 12:00 解散 後始末

(5) 実施日

6月21日(日)9時~12時

(6) 実施場所

小泉川 金ヶ原橋 上流



(7) 安全対策

下見により、深みや危険な場所をさけ、安全な場所を選ぶ。
安全対策のスタッフを置き、常時、活動の様子を見守る。
長袖、帽子、水分補給などの虫や暑さ対策をする。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 2名 (受付 運営補助、参加者への安全対策)

(9) 広報・募集方法

チラシの作成・配布 長岡京市広報 淀川河川レンジャーのホームページより発信

(10) 必要支援内容

- ・募集チラシ、資料の印刷
- ・救急セット、バインダー、レンジャー旗の借用 水質調査用パックテスト準備

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

募集チラシ作製、当日の運営、まとめ

4. 3 小泉川の魚をとって、種類や生態を調べよう。

(1) 活動目的

実際に川に入り、川の状態に沿って、魚の採り方を知り、種類や生態を知る。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 27 年	4月	
	5月	企画掲載の市広報依頼 近隣小学校へのチラシ配布依頼
	6月	現地下見 小泉川
	7月	●小泉川の魚調査 7月中旬(日)
	8月	活動のまとめ 報告
	9月	

(2) 連携等

乙訓の自然を守る会

(3) 参加対象者・定員

小学生と保護者(保護者同伴で10組)

(4) 実施内容

- ・魚をとり、川遊びを体験する。
- ・水質調査をする。
- ・自然にやさしい川づくりについて、護岸や魚道などについて話をする。

9:10 集合 趣旨説明 現地説明、諸注意

9:30魚とり 水生生物の採取

11:20 まとめ(採取した生物の分類 確認)

12:00 解散 後始末

(5) 実施日

7月12日(日)9時~12時

(6) 実施場所

小泉川 小倉橋 上流
阪急西山天王山駅徒歩5分



(7) 安全対策

下見により、深みや危険な場所をさけ、安全な場所を選ぶ。
安全対策のスタッフを置き、常時、活動の様子を見守る。
長袖、帽子、水分補給などの虫や暑さ対策をする。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 2 名 (受付 運営補助、参加者への安全対策)

(9) 広報・募集方法

チラシの作成・配布 長岡京市広報 淀川河川レンジャーのホームページより発信

(10) 必要支援内容

- ・ 募集チラシ、資料の印刷
- ・ 救急セット、バインダー、レンジャー旗の借用 水質調査用パックテスト準備
- ・ 講師派遣

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

募集チラシ作製、当日の運営、まとめ

4. 4 小学校での出前授業 流れる水のはたらきと 河川工事（護岸や川床）について

(1) 活動目的

小学校の理科学習で、5年生は「流れる水のはたらき」の単元を学習する。小さな川でも、台風などで雨が短時間に大量に降ると、洪水が起こりやすい。災害を防ぐための河川工事について、そのしくみや工夫を知る。また、最近は自然を考えた川づくりがすすんでいることを学ぶ。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 27 年	4月	
	5月	学校 土木事務所への申し入れ
	6月	教材作り 現地調査
	7月	
	8月	
	9月	↓
	10月	●小学校5年 学校への出前授業 「川の流れとはたらき」
	11月	活動のまとめ 報告

(2) 連携等

京都府乙訓土木事務所

(3) 参加対象者・定員

長岡京市内小学校 5年生 教員

(4) 実施内容

理科学習の「川とわたしたちの生活」—洪水を防ぐ工夫や、自然を考えた川づくりについて、近くの川、小泉川や桂川に即して学習する。

河川工事の内容や防災対策を、河川工事の担当者の方に説明していただく。

(5) 実施日

10月中旬

(6) 実施場所

学校 教室

(7) 安全対策

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

(9) 広報・募集方法

・小学校への依頼

(10) 必要支援内容

- ・資料の印刷
- ・乙訓土木事務所の担当の方から、河川工事の内容ややり方の移り変わりなど説明をしていただく

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

当日の運営、まとめ

4. 5 「川とわたしたちの生活」市民向け学習会

(1) 活動目的

人々は、昔から川と深い関わりをもって暮らしてきた。田畑への水の供給の用水路が小泉川から縦横に作られている。最近は、川の生物や岸辺の植物に影響が出ないようにした堤防や魚の通り道を工夫したものが作られるとともに、水辺に親しむ環境にもなっている。河川整備についても住民の意見を聞くとともに、ともに川の大切さを考える場とする。

あわせて、桂川や淀川の魅力や生き物についても、知らせていきたい。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 27 年	4月	
	5月	土木事務所への申し入れ
	6月	教材作り 現地調査
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	●「川とわたしたちの生活」市民向け学習会
	12月	活動のまとめ 報告

(2) 連携等

京都府乙訓土木事務所 乙訓の自然を守る会

(3) 参加対象者・定員

一般 30名

(4) 実施内容

河川工事の内容と、河川法改正による工事のやり方の変遷について学習するとともに、桂川や淀川について、その魅力や生き物について、知らせる場としたい。

13時半 開会 16時 閉会

(5) 実施日

11月

(6) 実施場所

長岡京市中央公民館

(7) 安全対策

特になし

(8) 広報・募集方法

チラシの作成・配布 長岡京市広報 大山崎町広報
淀川河川レンジャーのホームページより発信

(9) 協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ2名
会場作り 受付等

(10) 必要支援内容

- ・資料の印刷
- ・淀川の生き物などの宣伝物

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

募集チラシ作製、当日の運営、まとめ